
マニュアルヘブン

黒峰瑠璃華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マニュアルヘブン

【Nコード】

N6221I

【作者名】

黒峰瑠璃華

【あらすじ】

すいーつ頭脳の皆様へ。

— 御手紙 —

チョコレートに埋もれたい。

生クリームに包まれたい。

キャラメルソースに流されたい。

そして、泡になって溶けて消えていきたい。

なんと素敵なことでしょう。

この世に未練など、更々ありませんので、ご心配なく。

あたしが造り上げた世界で、あたしが教科書的存在としてその世界
まるごと愛していく。

世界平和、そのものであります。

ですがリアル現実、こんな考え方がまかり通ることなんてないと言
うことは、百も承知で御座います。

なのであたしは夢見ます。

静かに、ひとりで夢を見ます。

そして、お祈りをいたします。

1日、いや、1秒でも早く、甘い世界の住人になれることを、切にお願いいたします。

「——生きていれば幸せになれる。命を大切に。」

…は？

なに言ってるの？

『生きる』？

『命』？

馬鹿じゃないの？

理解不能、甘ったれたこと言ってるじゃねえわよ。

世の中、綺麗事なんて通用するはずないことくらい知ってますけど。

そんな身勝手なものさして生きてきたんですか？

それこそキモいわ。

幸せいっぱい、さぞかし楽しいんですね、生きることが。

上から目線で、高いところから同情することが気持ちいいんですか、
そうですか。

くたばれや。

死ねよ。真人間。

誰もが生きていたんだなんて考えちゃいねんだよ。あたしだって、
真人間様達みたいに、日本の象徴たる方へひざまずき、あくせく働
いたお金を捧げますみたいに思ったこともあつたし、糞扱いしないで
いただきたいですね？

平気で真人間様は言いますよね？

『生きよう』

この字体自体みたくもねえわ（洒落では御座いません）。

勘違いして欲しくないのと言っておきますが、逃げてなんかいませ
んから。

自分が偉いと思ってる真人間様に限って、うかつに『消えたい』と
漏らすと、『アナタは逃げてる』と言うものですから、あえてここ
で申し上げておきます。

しかしながら、どうでしょうか？

あたしが考えたこの提案は。

すいーつ頭脳の皆様が賛成してくだされば、あたしは実行に移ります、今すぐにでも。

いかがでしょう？

あたしの答えはもう出ています。

そして準備も終わりました。

これから至福の時間を味わいたい方は、どうぞご遠慮なさらず、手を挙げてください。

あ、綿飴へ堕ちていくのもいいですね。

ああ、話が反れました。

——手が挙がらないのであれば、あたし一人でいたします。

では、これにて。

あとはよろしく。

早坂里穂。

切り裂きジャック

煙草を吹かしながら、アルミ缶の酒を飲む。これが私の日課だ。

午前2時。

辺りは静かで風が窓を叩いている音しかない。

どうして私はこんな処にいて、まだ息をしているんだろう。

クソ。

また目覚めてしまった。

眠剤と酒は相性が良いはずなのに、眠ることができない。耐性ができてしまったのだろうか。量を増やしたところで、さほど変わりがない。

7

少しふらつく。

その程度しか踏み出せないのか、私は。

おもむろに携帯を開く。液晶画面の光がまぶしい。

私にはお気に入りサイトのサイトがある。

【切り裂きライブ】

ここでは私みたいなやつでも気軽に受け入れてくれ、そして、私と同じような日常を抱えている、いわば『似た者同士』達が住人である。

特にこの時間帯の参加者は多い。

サイト管理者の意志としては、悩める仲間同士、改善の道へと歩んでいって欲しいそうだが、実際私はそんなことどうでも良い。

仲間が居る。

例えば掲示板の投稿が作り話であるとしても、他人の悩める書き込みなどを見ていれば、落ち着くのだ。ただそれだけ。

今日もここで私は文字を入力する。

ルイ：『眠剤数十錠と缶酎ハイ三本のんで寝てみた。けれど、いつもと同じ！一時間くらいしか眠れなかった（泣）どうして、この世は生きにくいんだろう？毎日ウザイ。』

数分後、レスが返ってくる。

あーや：『こんばんわあ ルイさん、どおしたの？また逝けなかったの？（つA）？ あーや も、さっき眠剤と例の薬飲んだらハイになっちゃって寝られませえん（・ー）だから切っちゃいましたあ（（・・）（藁』

ルイ：『あーや、やるね！でも明日学校あるじゃん？絶対見つかるって…』

あーや　：『だあいじよぶ（＾o＾）仮病つかって休んじやいますから　んで、フリータイムカラオケいつてきまーす（＾－＾）ノ餅、おやつはクスリ♪』

ルイ：『不良娘だ（笑）ここに悪い子がいますよー（笑）』

あーや　：『ルイさんいぢわるだあ（ノー；）クスン（ノー・、）』

ルイ：『ドSですから　あたくし　んぢや、あたくしもスツキリしてこようかな（笑）』

あーや　：『いつてらっしやあい（＾＾）ノシ』

ほんの少しチャットを済ませて、仲間がまだいるか確かめる。
今夜もみんなどこかで、私と同じことを考えてると思うと、ますますやる気が湧いてくる。

こんな風に毎日やり取りして、過ごしている。

みんな死ぬ気なんてないくせに。

だから、そんなんじゃないってことを証明してみせるかのようにな、私は右手にカミソリを持つ。

左手首の太い血管めがけて、一気にザックリ…。

世の中はおかしい。

死んでも言い奴らばっかが、ウジャウジャしているのに、何でそいつ等を殺さないんだろう？

疑問、不思議、理解不能。

てか、私の頭はそんなことばかり考えている。

私が正義の世の中を造り上げたい。そして、都合の言い奴達ばかりで暮らしたい。

仲良く暮らした後は、地球を爆弾で一思いに消滅させるんだ。

夢。

とんでもなくパラレルな。

気づけば3時半。

私の左手首が少し重さを感じてきた。

紅い。

あかい。

アカイ。

血。

ふう…、と溜め息が出る。

今日1日の、任務は完了致しました。

さて、明日はどんな一日が待ってるのでしょうか？

私は私をこう呼んでいる。

——『切り裂きジャック』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6221i/>

マニュアルへブン

2010年10月9日05時09分発行